

伊勢湾貧酸素情報（第5報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、三重県側に広い範囲で2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

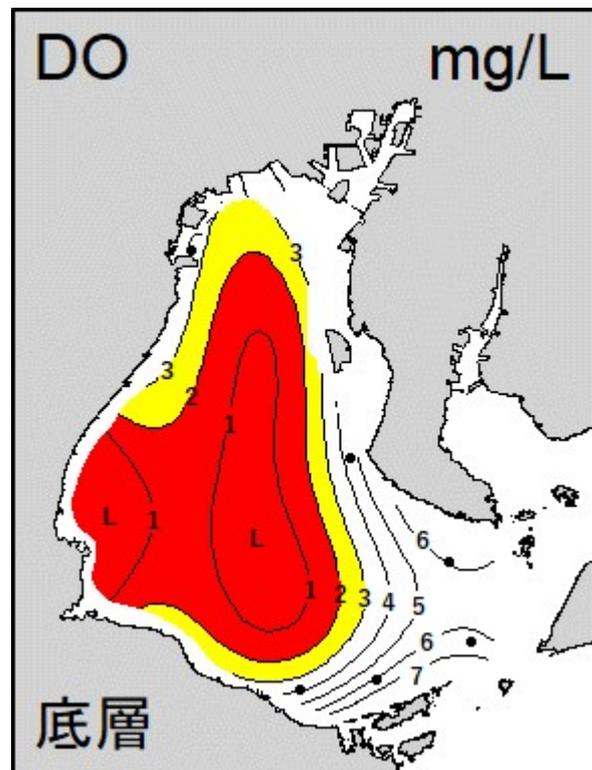
10月8日の調査結果

10月8日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で24.4～25.7℃、10mで24.6～25.2℃、底層で24.0～25.4℃の範囲にあり、平年より高めでした。

DO（溶存酸素濃度）は表層で6.9～8.3 mg/L、10mで1.4～6.6 mg/L、底層で0.3～6.4 mg/Lの範囲にあり、平年並でした。

底層では、三重県の沿岸域に沿って広い範囲で2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されていました。

表層と底層の水温差が小さくなっているため、今後海水の上下混合が起こり、貧酸素状態は徐々に解消に向かうものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図